

令和8年度  
かごしまルネッサンスアカデミー  
履修証明プログラム

「稲盛経営哲学プログラム」(第15期)  
募集要項

鹿児島大学

# 目 次

I. はじめに	1
II. 募集について	1
1. 募集人員	1
2. 受講のための資格	1
3. 受講料	1
4. 授業形態	1
III. 申請手続き	2
1. 申請期間	2
2. 申請方法	2
3. 申請書類	2
4. 申請書類の提出先	2
5. 申請上の留意事項	2
6. 選抜方法	2
7. 受講者の決定	2
IV. カリキュラム・修了要件	3
1. 開講式	3
2. 開講期間	3
3. 修了式	3
4. 開講場所	3
5. 修了要件	3
V. その他	3
1. 実施体制について	3
2. 修了証明について	3
3. 単位の授与の有無について	3
4. 感染症拡大時の対応について	3
5. お問い合わせ先	3
稲盛経営哲学プログラム開講日程	4～5
稲盛経営哲学プログラムシラバス	6～12
申請書類一式	13～16

# かごしまルネッサンスアカデミー履修証明プログラム 「稲盛経営哲学プログラム」第15期 募集要項

## I. はじめに

「稲盛経営哲学プログラム」は、社会人を対象に、「稲盛経営哲学」を学んでいただくことにより、進取の精神を涵養し、経営者や地域社会のリーダーとして活躍する人材を育成していくことを目的に開講しております。

本プログラムでは、『稲盛和夫の企業変革史』、『稲盛和夫の経営問答』、『稲盛和夫の実学—経営と会計—』、『アメーバ経営論』、『実践経営論』、『稲盛フィロソフィ』、『組織運営におけるリーダー論』の7つの科目について、計60時間の講義を体系的に学んでいただきます。

第15期も、毎年度好評の『実践経営論』を引き続き開講し、実際の経営の現場で活躍されている方からの講義を計画し、稲盛経営哲学の理論と実践の両面について学んでいただける充実した内容となっております。また、稲盛アカデミー客員教授等による『稲盛フィロソフィ』では、全国の稲盛研究の最高峰の方々にそれぞれの立場から講じていただきます。それから、今期から新たに「稲盛和夫の企業変革史」も開講します。

本募集要項では、稲盛経営哲学プログラム第15期受講生を以下の要領で募集します。

## II. 募集について

### 1. 募集人員

稲盛経営哲学プログラム : 30名 (定員を超える応募があった場合は選考を行います)。

### 2. 受講のための資格

高校卒業又は高校卒業と同等と認められる者

### 3. 受講料

60,000円 (税込)

※下記の教科書は、別途実費負担となります。

『稲盛和夫の実学—経営と会計—』 稲盛和夫 著 (日本経済新聞社)

『アメーバ経営—ひとりひとりの社員が主役—』 稲盛和夫 著 (日本経済新聞社)

※学外研修に係る保険料等、実費負担があります。

※車で通学 (本校への入構) を希望される場合、別途実費 (7,900円) 負担となります (鹿児島大学交通規則に基づく審査を経て、入構証及びバスカードを発行します)。

### 4. 授業形態

対面式講義を基本としてプログラムを実施します。

県外等宿泊を伴う遠方の方は、Zoomによるオンライン受講が可能です。その場合は、P. 14の受講申請書の「ご希望の受講方法」欄にて「遠隔式 (Zoom 使用)」を選択ください。

但し、2/19 (予定) 京セラ株式会社鹿児島霧島工場での学外研修については、対面式受講のみとします。

### **Ⅲ. 申請手続き**

#### **1. 申請期間**

(1) 募集期間：令和8年6月8日（月）～ 令和8年8月3日（月） 必着

#### **2. 申請方法**

(1) 申請書類の入手方法：

申請書類は本誌13頁～16頁にあります。

稲盛アカデミーホームページからダウンロードすることもできます。

<https://www.inamori.kagoshima-u.ac.jp/>

募集要項・申請書類一式の郵送を希望される方は、事務室へ直接お問合せください。

(2) 申請書類の提出方法

郵送（簡易書留、レターパック）のみとします（※令和8年8月3日（月）必着）。

#### **3. 申請書類**

- ① 提出書類チェックシート
- ② 様式1 受講申請書
- ③ 様式2 履歴書
- ④ 様式3 受講希望理由書

#### **4. 申請書類の提出先**

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30

鹿児島大学稲盛アカデミー事務室 行

#### **5. 申請上の留意事項**

- (1) 申請書類を郵送する場合は「簡易書留」または「レターパック」とし、封筒の表に「稲盛経営哲学プログラム受講申請書在中」と朱書きしてください。
- (2) 申請書類の不備な物は受け付けられませんので、記載には十分ご注意ください。
- (3) 虚偽の記載があったものは、受講許可を取り消す場合があります。

#### **6. 選抜方法**

受講者の選抜は、受講資格を満たしているか確認のうえ決定します。定員を超える応募があった場合は書類選考を行います。

#### **7. 受講者の決定**

令和8年8月末までに本人へ通知（文書発送）します。

#### **IV. カリキュラム・修了要件**

**1. 開講式** 令和8年9月5日（土）9時30分～

**2. 開講期間** 令和8年9月5日（土）～ 令和9年2月20日（土）※予備日を含む

**3. 修了式** 令和9年3月13日（土）10時30分～（予定）

**4. 開講場所** 鹿児島大学稲盛アカデミー棟講義室

#### **5. 修了要件**

総時間数60時間の講義全てに出席（対面またはオンライン）して、かつ所定の課題についてのレポートを提出し、合格と判断されること（鹿児島大学の特別の課程における履修証明プログラムに関する規則に準じる）。

なお、欠席した場合は、講義時間数の20時間（応相談）までは、その回の講義を撮影した動画をオンデマンド（インターネット）視聴し、フィードバックシートを提出することで、出席と認める。

#### **V. その他**

##### **1. 実施体制について**

稲盛アカデミーにおいて、本プログラムの編成及び実施、成績評価並びに履修証明書の交付を行います。

##### **2. 修了証明について**

定められた修了要件を満たした方には履修証明制度に基づき「履修証明書」を交付します。

##### **3. 単位の授与の有無について**

本履修証明プログラム修了者への単位の授与はありません。

##### **4. 感染症拡大時の対応について**

実施期間中に感染症が拡大した場合、Zoomによるオンライン講義への移行や、開講日程が変更される場合があります。予めご了承下さい。

##### **5. お問い合わせ先**

鹿児島大学稲盛アカデミー事務室

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30（稲盛アカデミー棟2階）

Tel: 099-285-3751 E-mail: inamori@kuas.kagoshima-u.ac.jp

8時30分～17時15分（土日・祝祭日は除く）

令和8年度 履修証明プログラム「稲盛経営哲学プログラム」第15期 開講日程

回	開講日	開講時限		時間
		開講式	9:30 ~ 9:40	
1	9月5日(土)	オリエンテーション	9:40 ~ 10:20	
		1限	10:30 ~ 12:00	1.5
		2限	12:50 ~ 14:20	1.5
		3限	14:30 ~ 16:00	1.5
		4限	16:10 ~ 17:40	1.5
2	9月26日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
3	10月17日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
4	11月7日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
5	11月28日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
(予備日)	12月5日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
6	12月12日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
7	12月19日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
8	1月30日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5

回	開講日	開講時限		時間
9	2月13日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
10	2月19日(金)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
(予備日)	2月20日(土)	1限	9:30 ~ 11:00	1.5
		2限	11:10 ~ 12:40	1.5
		3限	13:30 ~ 15:00	1.5
		4限	15:10 ~ 16:40	1.5
	3月13日(土)	修了式	10:30 ~ 11:00	

※ 開講日は土曜日が主ですが、2月19日の京セラ株式会社鹿児島霧島工場での学外研修日のみ金曜日となっております。(この日は、対面式受講のみ可。)

※ 講義名や講義担当者の入ったスケジュールは開講式当日に配付いたします。

※ 12月5日と2月20日は、開講期間中に万が一、天災等が発生した場合の予備日です。

※ 講義日程の計画は変更される場合があります。予めご了承ください。

## 01 【 科目名 】 稲盛和夫の企業変革史

【 担当教員 】 粕谷 昌志・ゲスト講師

【 時間数 】 7.5時間 (5コマ×1.5時間)

【 科目概要 】

本講義では、稲盛和夫およびその経営の歩みを、「企業変革」を視点として経年順にたどる。また、京セラ稲盛ライブラリー協力のもと、関連する稲盛和夫の講話ビデオを視聴する。この両輪の学びから、稲盛経営の基軸となる考え方を理解する。

【 学習目標 】

1. 経営者稲盛和夫について、総合的な理解をはかる。
2. 企業の成長発展の要因を理解する。
3. 企業を発展に導く経営者のあり方を理解する。

【 開設予定講習 】

1. 揺籃期 稲盛和夫前史	講義 映像	変革を続けた、経営者稲盛和夫の原点を解説する（鹿児島時代）。
2. 創業期「原理原則の経営」	講義 映像	創業まもなく、規範、理念、経営管理システムを構築した経営を解説する（京セラ）。
3. 発展期「挑戦の経営」	講義 映像	安住せず、常に新しいことに挑戦し続けた経営を解説する（京セラ）。
4. 展開期「利他の経営」	講義 映像	「世のため人のため」という経営が、繁栄を導くことを解説する（京セラ）。
5. 飛躍期「普遍の経営」	講義 映像	事業領域を超えて、成功へ導く経営を解説する（KDDI、JAL）。

【 参考文献 】

- ・稲盛和夫『新版 敬天愛人 ゼロからの挑戦』（PHPビジネス新書・2012）
- ・稲盛和夫『ガキの自叙伝』（日経ビジネス人文庫・2004）
- ・加藤勝美『ある少年の夢』（日経ビジネス人文庫・2025）
- ・北康利『稲盛和夫伝』（PHP文庫・2022）

【 参考映像 】

- ・稲盛デジタル図書館（京セラ稲盛ライブラリー）<https://www.inamori-dl.jp/>

## 02【科目名】稲盛和夫の経営問答

【担当教員】粕谷 昌志・劉 美玲

【時間数】3.0時間 (2コマ×1.5時間)

【科目概要】

本講義は、開講以来の本プログラムの学習内容を振り返るとともに、前半部分では稲盛氏と盛和塾生の経営問答に学ぶ。後半では具体的な経営者の悩みや問いに、稲盛氏ならどのように回答するかというテーマで、受講者間のディスカッションによるワークショップを行い、粕谷、劉もファシリテーターとして参加し共に議論をする。

【学習目標】

1. 開講以来の講義内容を振り返り、疑問点を解消する。
2. 『実学・経営問答—人を生かす—』や『稲盛和夫の経営塾—高収益企業の作り方—』を学んだ後、自分が稲盛氏なら企業経営者の悩みにどのような観点から助言するかを考えてみる。

【開設予定講習】

1. 稲盛経営哲学の経営問答 (1)	講義 ワークショップ	経営問答の事例を解説する。
2. 稲盛経営哲学の経営問答 (2)		受講者間でのディスカッション。

【教科書】

稲盛和夫『実学・経営問答—人を生かす—』（日本経済新聞社・2008年）、稲盛和夫『稲盛和夫の経営塾—高収益企業の作り方—』（日経ビジネス文庫・2007年）を想定していますが、資料はこちらで準備いたします。

### 03 【 科目名 】 稲盛和夫の実学—経営と会計—

【 担当教員 】 劉 美玲

【 時 間 数 】 7.5時間 (5 コマ×1.5時間)

【 科目概要 】

本講義は稲盛和夫氏の「哲学」に対して「実学」に焦点を当てたものである。本講義では稲盛氏の著書『稲盛和夫の実学—経営と会計—』（1998年・日本経済新聞社）について、講義する。稲盛氏の会計思想がどのように誕生したのか、稲盛氏が会計において重視していることは何かについての理解を深めるために、テキストを熟読していく。

【 学習目標 】

1. 稲盛氏の会計学の思想と手法を理解する。
2. 稲盛氏の経営手法についての理解を通じ、他の講義で扱うフィロソフィ（哲学）と「実学」の関係を体系的に理解する。

【 開設予定講習 】

1. 稲盛和夫の実学—経営と会計— (1)	講義	序章：私の会計学の思想
2. 稲盛和夫の実学—経営と会計— (2)	講義	第1章：キャッシュベースで経営する 第2章：一対一の対応を貫く
3. 稲盛和夫の実学—経営と会計— (3)	講義	第3章：筋肉質の経営に徹する
4. 稲盛和夫の実学—経営と会計— (4)	講義	第4章：完璧主義を貫く 第5章：ダブルチェックによって会社と人を守る
5. 稲盛和夫の実学—経営と会計— (5)	講義	第6章：採算の向上を支える

【 教科書 】

- ・ 稲盛和夫『稲盛和夫の実学—経営と会計—』（日本経済新聞社）

## 04 【 科目名 】 アメーバ経営論

【 担当教員 】 劉 美玲

【 時間数 】 12.0時間 (8コマ×1.5時間)

【 科目概要 】

本講義は京セラが創業間もなく次第に規模を大きくしていく過程で、大きくなった組織をどのようにコントロールしたらいいのかという稲盛和夫氏の悩みから閃いた経営管理手法であるアメーバ経営について、会社を小集団の組織に分けて独立採算制で管理するための経営管理の仕組みと、その運営にはベースとして経営哲学が必須であり全員参加の経営がもつ力の大きさについて学ぶ。また、受講者の理解を深めるために京セラ株式会社鹿児島霧島工場を訪問する現場研修を企画し、組織力の強さの根源を理解する。

【 学習目標 】

1. アメーバ経営が生まれた背景を理解する。
2. 時間当たり採算表を理解する。
3. アメーバ経営を支える経営哲学の重要性を理解する。

【 開設予定講習 】

( ※ 講義の計画の内容や順番が変更される場合があります。 予めご了承ください。)

1. アメーバ経営論 (1)	講義	アメーバ経営の誕生、目指す三つの目的を解説する。 経営哲学の必要性について解説する。
2. アメーバ経営論 (2)	講義	アメーバの組織づくりについて解説する。 採算管理(1) : 時間当たり採算表について解説する。
3. アメーバ経営論 (3)	講義	採算管理(2) : 収入、経費、時間の捉え方について解説する。
4. アメーバ経営論 (4)	講義	マスタープランと月次予定について解説する。
5. アメーバ経営論 (5)	現場 研修	京セラ株式会社鹿児島霧島工場を訪問し、アメーバ経営の実践を学ぶ。 ※
6. アメーバ経営論 (6)		
7. アメーバ経営論 (7)		
8. アメーバ経営論 (8)		

【 教科書 】

- ・ 稲盛和夫『アメーバ経営—ひとりひとりの社員が主役—』(日本経済新聞社)

【 参考文献 】

- ・ 稲盛和夫『稲盛和夫の実学—経営と会計—』(日本経済新聞社・1998年)
- ・ アメーバ経営学術研究会編『アメーバ経営学—理論と実証—』(KCCS マネジメントコンサルティング株式会社・2010年)

## 05【科目名】実践経営論

【責任教員】劉美玲 【講義担当者】企業経営者等（鹿児島盛経塾に所属の経営者等）

【時間数】6.0時間（4コマ×1.5時間）

【科目概要】

本講義は、現役の企業経営者等による講義である。本講義では実社会において企業経営者等として活躍されている方々を講師に迎えオムニバス形式で講義を進める。

「経営」は理論や細かな知識、その大元となるフィロソフィが重要であることは勿論であるが、常に経済状況の変動する実社会における実践そのものである。この「稲盛経営哲学プログラム」においては、より実践性の高いプログラムを目指しており本講義は、そのような考え方から開発されたものである。

本講義の講師はいずれも稲盛和夫氏に経営を学ぶ盛和塾（現：盛経塾）のメンバーであり、いわば「稲盛経営哲学」を実際の経営等で実践されている方々である。本講義では、書籍や机上での学びをどうすれば、実社会で実践できるのかという観点からの講義を行う。受講生と経営者等の質疑応答を中心とする「実践経営問答」も想定している。

【学習目標】

1. 現場での経営者等の苦労や経営判断をする時の基準、従業員の人心掌握術のコツや各々の経営者の哲学に触れる。
2. 担当講師との質疑応答やディスカッションを通じて、本当の経営実践に必要なものが何かを各自がつかみ取る。
3. 経営に携わる人もそうでない人も、講師の講義とその後の議論から、自分なりの価値基準を確立する。

【開設予定講習】

1. 実践経営論（1）	講義	現役企業経営者等による講義（1）
2. 実践経営論（2）	講義	現役企業経営者等による講義（2）
3. 実践経営論（3）	講義	現役企業経営者等による講義（3）
4. 実践経営論（4）	講義	現役企業経営者等による講義（4）

## 06 【 科目名 】 稲盛フィロソフィ

【 担当教員 】 青山 敦・粕谷 昌志・武隈 晃・中島 裕喜・三矢 裕

【 時 間 数 】 19.5 時間 (13 コマ×1.5 時間)

【 科目概要 】

本講義は鹿児島大学稲盛アカデミーの客員教授等 5 名によるオムニバス形式の講義である。本講義では 1 人の客員教授等に 1 つのテーマで講義していただくことを想定している。

それぞれの客員教授等は稲盛研究の日本における最高峰の専門家である。経営学、アメリカ経営論、組織論、企業会計論、経営史、フィロソフィ教育などの専門家であり、様々な学問分野から稲盛フィロソフィはどのように見ることが出来るのかについて幅広く講義していただく。

【 学習目標 】

1. それぞれの専門家から見た稲盛経営哲学の解釈や意味を理解する。
2. 稲盛和夫氏の経営哲学が経営学の専門家から、どのように評価されてきたのか、稲盛氏のフィロソフィに関心を持って研究してきたのかについて、その意味を理解する。

【 開設予定講習 】

1. 稲盛フィロソフィ (1)	講義	客員教授による講義 (1)
2. 稲盛フィロソフィ (2)	講義	客員教授による講義 (2)
3. 稲盛フィロソフィ (3)	講義	客員教授による講義 (3)
4. 稲盛フィロソフィ (4)	講義	客員教授による講義 (4)
5. 稲盛フィロソフィ (5)	講義	客員教授による講義 (5)
6. 稲盛フィロソフィ (6)	講義	客員教授による講義 (6)
7. 稲盛フィロソフィ (7)	講義	客員教授による講義 (7)
8. 稲盛フィロソフィ (8)	講義	客員教授による講義 (8)
9. 稲盛フィロソフィ (9)	講義	客員教授による講義 (9)
10. 稲盛フィロソフィ (10)	講義	客員教授による講義 (10)
11. 稲盛フィロソフィ (11)	講義	客員教授による講義 (11)
12. 稲盛フィロソフィ (12)	講義	客員教授による講義 (12)
13. 稲盛フィロソフィ (13)	講義	客員教授による講義 (13)

## 07【科目名】組織運営におけるリーダー論

【担当教員】粕谷 昌志・劉 美玲

【時間数】4.5時間（3コマ×1.5時間）

【科目概要】

本講義は、組織を運営するにあたってリーダーシップの持つ重要性について学ぶ。最初に、組織の運営に必要なリーダーシップの本質について学ぶ。その後、組織におけるリーダーシップの源泉とリーダーシップのもつパラドックスについて経営学の説明するところを学ぶ。さらにその知識を踏まえた上で稲盛和夫氏の重視する「リーダーの役割10カ条」について学ぶ。

また、本講義ではPBL※の手法により、受講生の仕事上の悩みを解決するための実習も取り入れる。このことにより、前半の座学で学んだ知見を、日々の現実の仕事の場において役立たせるためには、どのような考え方や思考力や能力が必要かを伝授する。講義では稲盛和夫氏の講話のVTRも使用する。

【学習目標】

1. 組織の運営におけるリーダーの役割の重要性を理解するとともに、リーダーシップの源泉とリーダーシップのもつパラドックスについて理解する。
2. その後、稲盛和夫氏の重視する「リーダーの役割10カ条」について理解する。さらにPBLの実習において、リーダーシップを発揮するためにはどうすれば良いのかを考え、各々の受講生の現実社会におけるリーダーシップを強化する。

【開設予定講習】

1. 組織運営におけるリーダー論(1)	講義	リーダーシップの基礎 稲盛和夫のリーダー論 (リーダーの役割10カ条)
2. 組織運営におけるリーダー論(2)	実習	PBL(リーダーシップ)
3. 組織運営におけるリーダー論(3)	講義	稲盛和夫氏の講話VTR(リーダー論関係)

【教科書】

伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門』第3版（日本経済新聞出版社、1989年）、稲盛和夫『実学・経営問答 人を生かす』（日本経済新聞出版社、2008年）を使用しますが、資料はこちらで準備いたします。

※ PBLとは課題解決型学習（Project Based Learning）のこと。自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした学習理論。正しい答えにたどり着くことが重要ではなく、答えにたどり着くまでの過程（プロセス）が大切であるという学習理論。近年の教育に多く取り入れられ効果を発揮している学習方法となっています。

## 提出書類チェックシート

受講希望コース	稲盛経営哲学プログラム
勤務先および役職名	
氏名	

提出書類	
<input type="checkbox"/> 提出書類チェックシート（本用紙）	本用紙
<input type="checkbox"/> 受講申請書	様式 1
<input type="checkbox"/> 履歴書	様式 2
<input type="checkbox"/> 受講希望理由書	様式 3

※ 提出書類を確認の上、本状も提出願います。

※ 申請書類の提出方法は、郵送（簡易書留、レターパック）のみといたします。

（ ※ 令和8年8月3日（月） 必着 ）

## 令和 8 年度 かがしまるネッサンスアカデミー受講申請書

受講希望コース	稲盛経営哲学プログラム		写 真	(4.0cm × 3.0cm)
ふりがな			生年月日 (和暦) ・ 年齢	
氏 名			昭和 平成 年 月 日 ( 歳)	
自宅住所	〒			
電話番号 *		携帯電話番号		
電子メール				
勤務先 住所等 *	〒			
	勤務先名		役職名	
電話番号 *				
通知文書等の送付先	自宅住所		勤務先住所	
ご希望の受講方法	対面式受講		遠隔式受講	
入構車両パスカード購入希望	有		無	
緊急連絡先 (本人以外)	氏 名		間 柄	
	電話番号			

1. 上覧の\*がついている項目は、なければ記入する必要はありません。
2. 電子メールは、緊急の連絡等が可能な、使用頻度の高いメールアドレスを正確にご記載ください。
3. 車での通学（本学への入構）を希望される場合、別途実費（7,900円）負担となります。（鹿児島大学交通規則に基づく審査を経て、入構許可証及びパスカードを発行します）
4. 受講方法については、申請状況によって、ご相談させていただく場合があります。
5. 申込みに際し、ご記入いただいた個人情報、受講申請の確認、連絡、名簿作成、保険加入、受講者の統計以外の目的には使用いたしません。

## 履 歴 書

氏 名 \_\_\_\_\_

最終学歴	年 月	卒業
職歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
免許 ・ 資格	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

